



5月21日（木）と22日（金）は、久々の分散登校です。

これまでの、保護者の皆様の新型コロナウイルス感染症対策の対策のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

先日、ワークシートや自主学習ノート等、休業中に児童が、家庭学習に取り組んだ物をわざわざ、持ってきて頂きました。それを拝見しながら、児童が頑張っている様子や保護者の皆様のサポートのありがたさを改めて感じました。

その中で、課題もいくつか見えてきましたので、分散登校した児童に、直接伝えたり、この通信や学校のHPにも掲載していきたいと思えます。

ワークシートから感じた課題について

◎ ワークシートに書かれている内容を十分に読み取っていない点

ワークシートには、自主学習を進める上での手順や方法が示されています。また、作業には、一連のつながりがあり、初期の段階で間違えてしまうと、ずっとそれが、後の作業に影響してきます。慎重に確認しながら、取り組んでほしいと思えます。

◎ 名前を1シートごとに書いていない点

名前の未記入が目立ちます。今後中学校に進学し、定期テスト等で名前を書いていないと、大変不利になると聞いています。児童には、4月当初数回に渡って話をしましたが、いまだに改善されていないことがあります。

◎ 学習の振り返りの視点に沿って記述していない点

ワークシートには、学習のめあてが書かれており、それに対応したまとめをすることで45分間分の学習が完結します。

振り返りには、①めあてが自力で達成できたか。

②その原因や理由は何か。

③・①と②を受けて、今後今日の学びをどう次の学習につなげるか。

・もっとレベル向上させるために、何をどうするか。

・身の周りの生活や自分の今後の生活にどう活用するか。

（この中から選んで記述する。）

を書くようにしてほしいです。

★ 振り返りは、学習だけでなく、生活上でも必要です。よりよく生きるために、自分で自分のことを客観的に見つめる力を養ってもらいたいです。

そこには、思考力・判断力・表現力に合わせ、学びに向かう力や人間性が育っていく可能性が秘められています。

だからこそ、誠実に学習に望むことが、何よりも大切になってきます。

一方、学校の授業が行われている状態では、1時間ごとの学習の振り返りは、自分ができたあるいは分かったかがその場で、児童が実感できる上に、交流等で、自分の考えが間違っていたかを知ることでもできるので、振り返ることは、たやすいのも事実です。

従って、ワークシートの修正をすることで、振り返りの記述を再度し直す必要が出てきます。この大変な事態の中で、児童は、再度これまでの学習のあり方を見直し、これからの状況に対応できる能力を身に付けてもらいたいと思えます。

News

今週のマイ・チャレンジ賞

今週は、舟橋心海君と三木基弘君です。ティッシュボックスを活用して小物づくりをしたり、自分の習い事の技能を高めるために努力をしたり、1日中農作業の手伝いをしたりする姿が見られました。自分を高める工夫や家族のために豊かさマインドをどんどんしてほしいです。

三幸小にマスクを寄贈していただきました

今週向島島内の2人の有志の方から、マスクを寄贈していただきました。少しずつ、マスクの販売も再開されているとはいえ、品不足で、大変貴重な物です。学校再開に向け、児童達のためにという思いで、持って来られました。児童一人ひとりに分散登校でお渡しします。

今週の家庭学習と宿題について

料理のお手伝いをさせて下さい

◎マイ・チャレンジシートの記入

□何をどのようにしたか。どんな気持ちなのかなど詳しく記入します。1日の生活の振り返りも記入します。

◎午前中4時間分のワークシートの記入

□まず、始めに、名前を書きます。

□学習のめあてを確認します。

□教科書や参考になる物を活用し、ワークシートに示されていることをしっかり読んでします。

□濃い鉛筆で芯をとがらせて、ていねいに書きます。習った漢字は、必ず使います。

□まとめを確認した後、振り返りの視点に沿って書きます。国語は、裏面に1つずつ貼っておきます。

◎返却したワークシート（先週分）の直し

□ワークシートは、1学期の成績・評価の対象とさせていただきます。記述内容から、

①知識・技能

②思考力・判断力・表現力

③学びに向かう態度や人間性の観点で評価して参ります。特に、③は、書いている文字の丁寧さなどが大きく関係してきます。

また、一人ずつ、1枚ずつワークシートを添削しています。その修正も評価の対象としております。

◎算数プリントNo.4とそれまでの直し

□直しは、1回したら終了とします。後は、解答を見て自分でチェックします。

なかなか、はじめは、手際も悪く、時間がかかるかも知れませんが、是非、休日など保護者の皆様の時間にゆとりがあるときなど、一緒に食事の用意をしてみても、如何でしょうか。

回数や機会が増える度に、上達し、力強い味方に成長するのではないかと思います。今後、将来に向けて、自炊能力は、とても大切になってきます。野菜の下処理や調理法、調味料の分量や入れる順序やタイミングは、側に居て、体験を通して身に付いていくものだと思います。

前号でも、触れましたが、医療・福祉関係に携わっておられる方々やごみ回収業の方々宅配運輸業の方々など、コロナウイルス感染の危険と直面しながら、作業を進めておられる多くの方々に感謝の気持ちを忘れず、日々過ごしてほしいと思います。ご家庭でも折に触れ、お話をいただければありがたいです。